

【評価実施概要】

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 3770102550                         |
| 法人名   | 有限会社らく楽                            |
| 事業所名  | らく楽一宮                              |
| 所在地   | 高松市一宮町1568番地1<br>(電話) 087-815-6001 |
| 評価機関名 | 社会福祉法人香川県社会福祉協議会                   |
| 所在地   | 〒760-0017<br>香川県高松市番町一丁目10番35号     |
| 訪問調査日 | 平成19年6月1日                          |

【情報提供票より】 (19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)15年 8月 11日             |
| ユニット数 | 3ユニット 利用定員数計 27人             |
| 職員数   | 24人 常勤 11人、非常勤 13人、常勤換算 6.6人 |

(2) 建物概要

|      |                     |
|------|---------------------|
| 建物構造 | 木造造り<br>2階建ての1・2階部分 |
|------|---------------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |         |      |
|---------------------|------------|----------------|---------|------|
| 家賃(平均月額)            | 36,000円    | その他の経費(月額)     | 16,500円 |      |
| 敷金                  | 有( )円      |                | (無)     |      |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( )円      | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無   |      |
| 食材料費                | 朝食         | 250円           | 昼食      | 400円 |
|                     | 夕食         | 450円           | おやつ     | 100円 |
|                     | または1日当たり 円 |                |         |      |

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

|       |          |      |     |    |     |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 26名      | 男性   | 6名  | 女性 | 20名 |
| 要介護1  | 8名       | 要介護2 | 8名  |    |     |
| 要介護3  | 5名       | 要介護4 | 4名  |    |     |
| 要介護5  | 1名       | 要支援2 | 0名  |    |     |
| 年齢    | 平均 80.5歳 | 最低   | 58歳 | 最高 | 94歳 |

(5) 協力医療機関


|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 協力医療機関名 | はまもと医院 高松平和病院 おさか脳神経外科病院 |
|---------|--------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

|   |
|---|
| <p>全職員が理念を共有し、いろいろな場面で、入居者一人ひとりが自分にできることを見つけ、日常生活の中で活かせる処遇ができています。また、小学校へ出かけた後、地域の文化祭参加など、地域への働きかけに努力が見られる。入居者の製作物も展示され、住環境も暖かい居心地の良い工夫がなされている。人的にも環境的にも暖かさがにじみ出るグループホームになっている。</p> |
|---|

【重点項目への取組状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題であった地域との交流は、今年度、特に力を入れて取り組み、改善が見られる。また、介護計画もより個別具体的なものに見直し、一人ひとりができることを見つけて取り組む処遇ができています等、改善課題に対して真摯な取り組みが見られる。</p> |
|       | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットごとに協議して、3つのユニットで統一している。自己評価は、個人個人が処遇を見直すための機会と捉え取り組み、ユニットごとの個性が出るのが望ましい。</p>   |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月に1回行われ、グループホームの活動状況の報告が詳しく行われている。推進会議のメンバーとして、地域の方の参加の幅を広げて欲しい。また、家族も、いろいろな方が参加するよう工夫して欲しい。</p>            |
|       | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>2か月ごとに、家族全員に意見や要望のアンケート調査が行われ、運営推進会議に反映していることは評価できる。直接の苦情に対しても職員会議で検討する等、対応が早く誠実である。</p>                                  |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩の時に幼稚園に立ち寄りたり、学校へ出向いて体育館で昔あそびをしたり、また、地域の文化祭に作品を出す等、地域との連携に努力が見られる。今後も引き続き、地域との連携を深めていくことに期待する。</p>                                   |

※  は、重点項目。

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |  |                      |   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |  |                      |   |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 利用者がその人らしく、自分の能力を活かしながら、安心して暮らせることを目指した事業所独自の理念を作り上げている。     |                      |   |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 管理者と職員、パート職員に至るまで、理念の共有はできており、理念を実践に活かしていることが、日常生活の中でうかがえる。  |                      |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |  |                      |   |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 今年度の一番の改善課題と捉え、地域の幼稚園や学校に向いていく等の取り組みが見られる。                   | ○                    | 今後も、今まで同様に取り組み、地域の方をたくさん巻き込んで欲しい。また、文化祭等に参加し、地域の役割も積極的に担って欲しい。                    |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |  |                      |   |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 評価の意義はよく理解できており、前年度の改善事項に対しては、積極的な取り組みが見られ、サービスの質の改善に活かしている。 | ○                    | 毎日の実践を振り返る自己評価が一番大切なものであり、自己評価を一人ひとりの職員が丁寧に取り組むことが望ましい。評価結果等は、推進会議の議題に上げて活用して欲しい。 |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 運営推進会議では、グループホームの活動状況が詳しく報告されている。あらかじめ、利用者から意見要望をアンケートにより聴取する取り組みをしている。 | ○                    | 地域の方の参加者の拡大と、家族の方も順番に参加してもらう等、今後の取り組みに期待したい。 |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 運営推進会議などで築き上げたネットワークを使い、気軽に連絡が取れている。                                    | ○                    | 地域包括支援センターが近くにあるので、積極的な交流を期待したい。             |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |  |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 毎月、家族に丁寧な報告ができており、家族の安心と信頼を得ている。報告のための様式も工夫されており、記録もきちんと残している。          |                      |  |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の意見要望を聞く機会を多くとり、職員会議や運営推進会議に反映している。                                   |                      |  |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員異動は多少はあるが、職員の在職期間も長く、利用者にとって、馴染みの方の支援が受けられるよう配慮している。                  |                      |  |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |  |                      |                                  |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                | グループホームでの研修を毎月積み重ね、事前準備などもしっかり行い、効率よく研修ができています。外部研修も参加できています。                        |                      |                                  |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | らく楽グループ間での交流はあり、勉強会などを行い、質の向上に取り組んでいる。   |                      |                                  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |  |  |                      |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |  |                      |                                  |
| 12                               | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に家庭訪問調査を行っており、利用者の把握ができています。家族と相談しながら、徐々に馴染めるような支援をしている。                           |                      |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                      |                                  |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 日常生活の中で、一人ひとりのできることを最大限に活かす取り組みができています。その人ができることを取り入れた当番表示を細かく作成しており、利用者が生き生きと動いている。 |                      |                                  |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                    |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |   |                      |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |   |                      |  |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 月2回の買い物や外出等、本人の意向を聞きながら行っている。                             | ○                    | 一人ひとりとゆっくり話し合う機会を、もっと持ちたいという職員の気持ちがあるので、今後も機会を見つけて、利用者の意向の把握に努めて欲しい。 |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                      |  |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人や家族、医療機関からの意見の聴取もあり、総合的な計画ができている                        | ○                    | 担当者会議に本人家族の参加を期待したい。また、意見聴取したことは、きちんと記録に残しておくことが望ましい。                |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3か月に1回以上の見直し、また、必要に応じた見直しなど、現状に即した対応ができている。               |                      |  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |   |                      |  |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 家族からの意見や要望を取り入れ、職員間で検討し、一人ひとりにとって最適な支援ができるよう柔軟な取り組みをしている。 |                      |  |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | その人のかかりつけ医の支援ができており、適切な医療が受けられている。なお、週1回、協力医療機関の医師の往診を受けている。 |                      |                                   |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時の段階から、重度化や終末期のあり方等は、本人や家族及び医療機関等と話し合いができる体制になっている。        |                      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                   |
| <b>(1) 一人ひとりの尊重</b>                |      |   |  |                      |                                   |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 各居室の戸締りや、希望者には鍵を渡す等、独自の取り組みができています。                          |                      |                                   |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 一人ひとりに合ったゆっくりした対応ができています。レクリエーションも充実し、利用者が作った作品等も上手に飾っている。   |                      |                                   |

| 外部評価                                | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                |
|-------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |   |
| 22                                  | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 水曜日と日曜日を、手づくりの食事とおやつ作りの日と決め、できる人が参加している。毎日の食事準備や片付け等の役割が細かくあり、利用者は生き生きと動いている。 |                      |   |
| 23                                  | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | いろいろな形態の入浴体制が整っているのので、本人の希望と体調に応じた対応ができています。                                  |                      |   |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |   |
| 24                                  | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 役割は細かく明示し、生活力やその人の力を活かした取り組みができています。花を植えたり、絵を書く等、入居者ができることを日常生活に取り込んでいる。      |                      |   |
| 25                                  | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 散歩や外出ができており、掲示している写真から、楽しさがうかがえる。   | ○                    | 日常的な外出、散歩などの機会を増やすことの必要性や、効果等を職員間で議論し、対応を期待したい。 |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b>               |      |   |   |                      |   |
| 26                                  | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 鍵をかけないケアについては全職員が共有しており、それに向けた取り組みができています。                                    |                      |   |

| 外部評価                           | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                 |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 27                             | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 年2回の避難訓練を行ったり、火災や感染症への対応のための勉強会や、委員会を立ち上げて熱心に取り組んでいる。                 | ○                    | 水不足や地震等、各種の災害に関する予防策や、災害時の対応のためのマニュアル作り等の整備が望まれる。 |
| 28                             | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 一人ひとりに応じた対応ができており、記録等も明確にできている。                                       |                      |   |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |   |                      |   |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |      |   |   |                      |   |
| 29                             | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は、それぞれの居場所を細かく配慮し、喫煙コーナーも設けられている。季節感を取り入れた花や装飾もあり、居心地の良い空間になっている。 |                      |   |
| 30                             | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 本人や家族と相談しながら、使い慣れた物も持ち込み、その人らしい居室づくりに配慮している。                          |                      |   |